

新 ま ち づ く り 計 画 (H16 ~ 18) 事 業 総 括 調 書

施策体系コード		3-4-3		事業名	札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討
担当		市)総合交通計画部交通計画課 酒井(211-2275)			
事業内容	全体計画(当初)				
	道路空間及び憩いの空間の整備後の活用・運営体制を検討し、市民利用が円滑に行えるような活用のルール化と、その運営体制の方向性を確立します。 また、札幌駅前通地下歩行空間の整備にあわせ、接続する地下鉄・地下街施設との連携をとった地下ネットワークのサイン計画を検討を行います。	<年度別の事業内容>			
		平成16年度	空間活用の検討、案内サインの調査・検討		
		平成17年度	活用・運営体制の検討、案内サインの検討		
		平成18年度	活用・運営体制の検討		
事業内容(量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)		
	○当該施設における、沿道ビル接続形状等及び、整備後の道路空間・憩いの空間での活用内容・方策の検討を行うと共に、今後のこれら検討に資するイメージ図の作成を行いました。 ○また、当該施設の整備に合わせ、地下歩行者ネットワークを形成することとなる、既存地下鉄・地下街施設等の現況サイン等調査・課題整理、及び、整備後における、これら地下施設を含めたトータル的なサイン計画等の方向性検討を行いました。		○沿道ビルとの協議により、事業同時接続ビルの把握、接続形状等の具体化を図りました。 ○運営体制に関する制度調査や、事業収支などの想定を行い、整備後における管理・運営の方向性について検討を行いました。 ○施設整備に伴い一体化される、既存各地下施設管理者を交え、トータル的な案内サイン計画の検討・作成を行いました。		
事業内容(量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)		
	○当該施設整備後における活用及び、民間活力を活用した運営体制の構築に向け、検討を行いました。 ・空間活用コンセプトの整理 ・空間活用コンセプトに基づいた施設運営計画(事業収支、事業実施組織・体制、事業手法など)		空間の利用として、広告などある程度の稼働率を確保できる可能性が見出せました。それらの収入源を基に、民間活力を最大限利用した施設運営の可能性が、確認できました。 また、サイン計画の検討については、開発局・地下街管理者・地下鉄管理者などと検討会を開催し、地下ネットワークのサイン整備の方向性について、マスタープランの検討を行い、地下通路整備までのサイン改修についての方向性を確認しました。		
			課題		
			空間の活用について、更なる検討を実施し、市民はもとより、観光客も訪れるような高質な空間となるような仕組みを検討する必要があります。 また、空間運用について民間活力を活用できるような組織の確立、選定方法などを検証するとともに、条例などの制度的な整理を行う必要があります。		
19年度以降の方向性(事業予定)					
18年度までの検討を基に、地下歩行空間の実質的な運営組織を確立し、平成22年度の供用開始に向けての準備を進める予定です。					

計